

ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 10 月 14 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



秋から初冬にかけては、つつが虫病に注意しましょう！

つつが虫病とは？

つつが虫病リケッチアという病原体によって起こる感染症で、この病原体を持つ**ツツガムシ**に刺されることで感染します。

ツツガムシはダニの仲間の一種で、

卵から孵化した後の幼虫の時期に人や動物を刺します。

秋から初冬（10～12月）が孵化の時期で、多くはこの時期に感染します。

0.1～3%のツツガムシが病原体を持っているといわれています



感染すると、5～14日後に**高熱**が出て、

皮膚の刺された場所に、赤いかさぶたとなった**刺し口**がみられます。

その後数日して、体に**発疹**があらわれ、

多くの場合、頭痛や、リンパ節の腫れなどを伴います。

治療が遅れると、死亡することもあります。

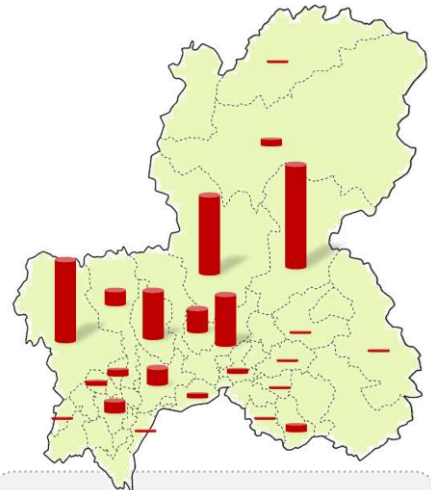
県内でも注意が必要です！

岐阜県では、**近隣県と比べて感染する人が多く**、

毎年 10～20 人の患者が報告されています。

患者の 8 割以上が **11～12 月**に報告されています。

これまでの報告では、下呂市、揖斐川町、郡上市などで感染する人が多くなっています。



つつが虫病の
推定感染地域（市町村）別の患者数
（2006～2015年に報告された175人）

感染を予防するために

ツツガムシは、**草原、山林、田畑、河川敷**などに生息しています。

農作業やレジャーなどでこのような場所に立ち入る時は、次のような対策をしましょう。

- **長袖、長ズボン、靴下を着用し、肌を出さないようにしましょう**
- **虫よけスプレー（ディート）を活用しましょう**
- **外から帰ったら、速やかに入浴して着替えましょう**

ツツガムシの幼虫は
体長 0.2 ミリほどです。
肉眼ではほとんど見えません。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

